

こどもも おとなも 元気いっぱい 東町小！



あずっ子

東町小学校学校だより

1月31日発行

校長 野口 正孝

在籍児童数454名

(1/31現在)

人権教育の取り組みについて

本年度の東町小学校指導の重点に「人権教育の充実」があります。私が教員になったころは、人権教育というと部落問題やいじめ問題が中心でした。しかし、現在はそれ以外にも外国人、障がい者、老人や若者LGBT、受刑者の差別など、本当に多岐にわたる人権問題が混在しています。そこで本校では本年度、4年生では車いす体験や盲導犬のお話など、体験を通して身体障害について学ぶ機会を設けました。6年生では元入間市議の細田さんに、LGBTのお話も伺いました。そして、1月22日(水)には、3年生から6年生が、デフラグビー日本代表の大塚貴之さんの講演会を開くことができました。

大塚さんは出生時より耳が聞こえない先天性の聴覚障害者だそうです。地元の小学校、中学校を卒業し、大学はラグビーの名門、帝京大学に進学しました。大学では健常者と一緒にプレーし、レギュラーを勝ち取ったそうです。現在では埼玉県に拠点を置くラグビーチーム「ワイルドナイツ」に所属し、デフラグビー日本代表としてご活躍されています。デフラグビーとは聴覚障害のある選手が行うラグビーです。

大塚さんの話の中では、大塚さんには音がどのように聞こえるのか、耳が不自由なひとがどうやって他人とコミュニケーションをとるのか、手話のあれこれなど、聴覚障害について子どもたちにとっても分かりやすく話してくれました。大塚さんは口の動きで相手が何を言っているのか知ることができるそうですが、それを聞いた子どもたちは、大塚さんと話すときはマスクをとって話すようになりました。「耳が聞こえないのにどうやって言葉を覚えたのですか」など、たくさんの質問もあり、丁寧に答えていただきました。大塚さんが熱心にお話しする姿に、子どもたちも真剣に聞き入っていました。こうした経験を通して、少しでも人権意識が芽生えてくれるといいと思いました。

